

2018年度 後期

溶接作業指導者資格 再認証申請のご案内

一般社団法人 日本溶接協会
溶接管理技術者認証委員会
溶接作業指導者運営委員会

「溶接作業指導者」資格は、3年毎のサーベイランスを2回受けることで9年間有効ですが、10年目以降も資格を継続するには再認証の審査を受ける必要があります。

再認証の審査は9年目の1年間に2回受ける機会があり、保有されている資格の有効期限により、今回、初めてこの案内を受け取る方と2回目の方がいます。再認証審査の機会が異なりますので、有効期限をご確認の上、再認証の申請をお願いいたします。

1. 再認証審査の対象者

お手元の適格性証明書（カード）に記載されている有効期限をご確認下さい。この案内は、再認証審査の機会が初めての方と2回目の方にお送りしています。

1.1 有効期限：2019年2月28日の適格性証明書を保持している方

証明書番号：WL505～WL575, WL988～WL1486, WL2178～WL2284

（ただし、現在有効な適格性証明書を保持している登録者）

2018年度前期にまだ申請されておらず、今回の申請を辞退されると資格は失効します。
今回は最後の案内となりますので、「再認証の申請」を是非、ご検討ください。

1.2 有効期限：2019年8月31日の適格性証明書を保持している方

証明書番号：WL2285～WL2294

（ただし、現在有効な適格性証明書を保持している登録者）

9年目となる2018年度後期または2019年度前期のいずれかに「再認証の申請」を行ってください。なお、2019年度前期の再認証の審査をご希望の場合には、2019年3月にあらためてお送りする「再認証申請のご案内」にて講習会の開催日時などを確認の上、お申込み下さい。

表1 再認証審査の機会

有効期限	2018年度		2019年度	
	前期	後期（今回）	前期	後期
2019年2月28日	終了	○	×	×
2019年8月31日	×	○	○	×

○：再認証審査の対象期間 ×：再認証審査の対象期間外

2. 再認証の審査方法

再認証の審査は、最近における溶接に関する講習会等の参加実績と再認証申請書の審査により行います。講習会等の参加については次の3つの方法があり、(1)、(2)、(3)いずれかの方法で申請して下さい。

(1) 日本溶接協会主催のWES 8107による「溶接作業指導者のための講習会」の場合

この講習会は初めて資格を取得される方を対象とした3日間の講習会（表2参照）ですが、再認証の審査対象の方には講習会の2日目と3日目を受講いただき、審査に合格し登録申請を行うことで更新ができます。

表2 再認証審査 対象の方の講義内容

日 程	再認証の 場合	講 義 内 容	時 間 割
1 日 目	<u>受講不要</u>	溶接指導の一般知識 / 非破壊試験	—
		被覆アーク溶接・厚板と高張力鋼の溶接及び切断	—
2 日 目	必 須	半自動アーク溶接・薄板の溶接	9:00-12:00
		ティグ溶接・ステンレス鋼の溶接	13:00-15:00
		自動溶接・ロボット溶接 / 最近の溶接技術	15:00-16:30
3 日 目	必 須	溶接における品質管理と作業管理	9:00-12:00
		溶接構造物の強度と設計 / 安全衛生とその管理	13:00-15:15
	<u>受験不要</u>	筆記試験 (再認証の場合, 受験不要)	—

特に今回が最後の機会となる方は、表3の講習会からご希望の開催地と開催日を選び、同封の再認証申請書にご記入の上お申込み下さい。

表3 2018年度後期 溶接作業指導者のための講習会 開催予定(2,3日目)

開催地	開催日程	開催場所	申込期限
2018年度後期	北九州 2018年10月 23日(火) 24日(水) 25日(木)	日本溶接協会 九州地区溶接技術検定委員会 〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町 2-15 TEL. 093-881-5610	各開催日の1ヶ月前
	東京 2018年10月 30日(火) 31日(水) 11月1日(木)	日本溶接協会 溶接会館 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 TEL. 03-5823-6325	
	大阪 2018年11月 6日(火) 7日(水) 8日(木)	大阪YMCA国際文化センター 〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-5-6 TEL. 06-6441-0893	
備考	2019年度前期は、5月後半に大阪、東京、名古屋にて開催の予定		

注1) 申込者数が少ない場合、他の会場での受講をお願いすることがありますので、その際はご了承ください。

注2) 講習会の受講者には、講習会開催日の約2週間前に「受講票」を送付いたします。

注3) 講習会で使用するテキスト「新版 溶接実務入門(増補2版)」を受講当日必ずお持ち下さい。なお、テキスト代金は受講料に含まれず、本協会ではこのテキストの販売はしていません。当日会場では販売いたしませんので、テキストをお持ちでない方は、事前に次の方法で購入をお願いいたします。

テキスト申込要領を本協会ホームページ (<http://www.jwes.or.jp>) の溶接作業指導者の箇所から印刷し必要事項を記入の上、産報出版(株)販売部にて購入をお願いいたします。また、一般書店でも取り扱っております。

産報出版(株)販売部 (東京) TEL.03-3258-6411 FAX.03-3258-6430
(大阪) TEL.06-6633-0720 FAX.06-6633-0840

(2) 日本溶接協会主催の WES 8103 による「溶接管理技術者のための研修会」の場合
 2 回目のサーベイランス以降において、本協会が開催する WES 8103 による「溶接管理技術者のための研修会」（特別級・1 級 4 日間，2 級 3 日間）の修了者は，溶接作業指導者再認証申請書の裏面に研修会修了証の写しを貼付しお申込み下さい。審査の上，登録申請を行うことで更新ができます。

(3) 他団体の講習会の場合

2 回目のサーベイランス以降において，公益法人などの団体が主催するこの資格に係る講習会に延べ 2 日以上（受講時間 10 時間以上）参加された方は，上記（2）と同様に，溶接作業指導者再認証申請書の裏面に参加実績証の写しを貼付し申請することができます。該当される方は申込先（3.4 項）までお問合せ下さい。審査の上，登録申請を行うことで更新ができます。

なお，（2）と（3）の申請期限は，表 5 を参照願います。

また，溶接作業指導者運営委員会が認めた溶接に関する講習会等の講師としての参加も実績となりますので，該当される方は申込先（3.4 項）までお問合せ下さい。

3. 申請手続き

3.1 再認証申請書の提出

- 1) 写真（30mm×24mm）は，無帽，正面向き，上三分身で，申請日前 6 ヶ月以内に撮影したもの（裏面に氏名を記入）を貼付して下さい。
- 2) WES 8107 による「溶接作業指導者のための講習会」以外の参加実績で審査を受けられる方は，参加したことが証明できる書類（修了証等）の写しを申請書の裏面に貼付して下さい。
- 3) 職務経歴及び職務内容は，6.項の記入例にならって具体的に記入して下さい。
 勤務先の証明は，申請者本人以外の方の署名・捺印を必ず受けて下さい。

3.2 再認証の費用

該当する再認証申請の費用（受講料のみ，又は審査料のみ）を同封の郵便振替払込書により郵便局から払い込み下さい。また，郵便局から受取った振替払込請求書兼受領証の写しを申請書の裏面に貼付して下さい。また，審査に合格された後，受講料，審査料とは別に，認証登録料が必要となります。

なお，WES 8107 による「溶接作業指導者のための講習会」を受講する方で，各会場開催初日の 3 日前までに取消の申出があった場合，1,000 円の手数料を差引いた金額を返金いたします。

表 4 再認証の費用 (消費税 8 %含む)

区 分	再認証の費用	
	受講料	審査料
(1) WES 8107 講習会を受講する方(2 日間の受講)	20,520 円	— 注1
(2) WES 8103 溶接管理技術者研修会の参加実績で申請する方	—	10,800 円
(3) 他団体の講習会参加実績で申請する方	—	10,800 円

注 1： 審査料は受講料に含まれます。

3.3 申請期限

表 5 申請期限

区 分	申請期限
(1) WES 8107 講習会を受講する方(2 日間の受講)	表 3 に示す申込期限
(2) WES 8103 溶接管理技術者研修会の参加実績で申請する方	・有効期限が 2019 年 2 月 28 日の登録者は 2018 年 11 月 5 日が申請期限 ・有効期限が 2019 年 8 月 31 日の登録者は 2019 年 5 月 27 日が申請期限
(3) 他団体の講習会参加実績で申請する方	

3.4 再認証申請書の提出先・問合せ先

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20

一般社団法人 日本溶接協会 事業部 溶接作業指導者資格認証 事務局

TEL. 03-5823-6325 FAX. 03-5823-5211

4. 再認証審査結果の通知と登録申請手続き

再認証審査の可否の結果は、12 月中旬に書面にて通知します。合格された場合には、可否通知に同封する「登録申請書」の提出と、認証登録料 10,800 円（消費税 8%含む）の払い込みが必要となります。

5. 適格性証明書の交付

「登録申請書」と「振替払込請求書兼受領証（写し）」の受領を確認した後、新しい適格性証明書は現在保有されている適格性証明書の有効期限の約 1 週間前に送付いたします。なお、有効期限の切れた適格性証明書の返却は不要です。

6. 職務経歴及び職務内容の記入要領

再認証申請書の職務経歴及び職務内容の記入については、記入例にならって、2 回目のサーベイランス以降の職務経歴と現在の職務内容を記入して下さい。

勤務先の証明は、申請者本人以外の方の署名・捺印を必ず受けて下さい。

記入例 1

職務経歴	職務内容
2016 年～2018 年 製造部 溶接班 班長	鉄骨の溶接及び班員の作業管理、品質確認、指導等

記入例 2

職務経歴	職務内容
2016 年 製作課 第 2 係 溶接班長 2017 年, 2018 年 製作課 第 2 係 溶接作業長	主な製品はボイラ 現在の主な業務 溶接施工計画書作成の参画 溶接作業の管理、指導及び改善

7. 個人情報の保護

ご記入いただいた氏名、住所、電話番号等の個人情報は、試験結果通知、適格性証明書の発送、サーベイランス及び再認証案内の通知のためにのみ利用します。詳細については、本協会ホームページの「個人情報の取扱いについて」をご参照下さい。

以上